

一般質問 Q & A



創世会
山本裕三

中東遠地域障がい者歯科診療の今後を

Q 障がいのある方も、地域で将来にわたって安心して住むことのできる地域を目指し、平成31年度以降の方針に関しては不透明である中東遠地域の障がい者歯科診療の今後を伺う。



障がい者歯科診療の様子

継続的に実施できるように検討

A 障がい者歯科診療は、利用する障がい者やそ

の家族にとって、必要不可欠です。将来のあるべき姿を探るとともに、平成31年度も継続的に診療が実施できるように、県、中東遠総合医療センター、歯科医師会、中東遠5市1町で様々な手法を検討していきます。

公共発注工事の施工期間の平準化を

Q 中小企業支援条例を制定した本市においては、「行政の責務」において年度末に工事が集中しないよう公共発注工事の施工期間の平準化を行うべきと考えるが見解を伺う。

より平準化を推進していく

A 本年度から発注担当課、財政課、管財課の各関係課によって、平準化を進めるための研究会を設けました。全国統一指標である「平準化率」の数値目標を定め、全庁体制で様々な手法を組み合わせながら、平準化を推進していきます。



共に創る掛川
松浦昌巳

掛川茶ブランドの再構築を

Q 掛川深蒸し茶は、生活習慣病や認知症予防に効果が期待されるとTV等で紹介されてきたが、改めて品質を重視した「掛川深蒸し茶ブランド」を構築するべきではないか伺う。

掛川茶のキーワードに「品質」を加えて構築

A 平成28年度に策定した掛川市茶振興計画に基づき、次の世紀も掛川市が「お茶のまち」であり続けるため、様々な施策を展開しています。掛川茶のキーワードである「美味・健康・環境」に加え、消費者に信頼され、選択されるための重要な要素となる「品質」も加え構築していきます。

市内4高校とのパートナーシップ協定を

Q 掛川市と市内の4高校とパートナーシップ協定を結び、行政と高校生が協働して「VR※掛川城」製作やインターンシップ支援、防災やまちづくりを行なうことが出来ないか伺う。

郷土愛や協働意識の醸成に期待

A 郷土愛や協働意識の醸成が期待できるとともに、若い力による地域の活性化も考えられます。継続的な取り組みができるよう、高校生の意見も聞きながら、お互いのメリットになるよう、検討していきます。

※VR：バーチャル・リアリティ 飯塚 晃実

